



## 春の一斉展示替えを行いました！

新年度を迎え、郷土資料展示室も古文書・お札類、刀剣、掛軸の一斉展示替えを行いました。

今回は春から初夏をテーマにした作品や、お酒にまつわるお札など皆さんにご紹介したい資料を集めました。この展示室だよりでは、それぞれ担当者による解説や注目ポイントについてご紹介していきます。解説とともにぜひじっくりと作品をご覧ください!!

### 古文書・お札類

#### お酒の神様・松尾神社の牛王宝印札

このお札は神奈川県伊勢原市に所在する松尾神社の牛王宝印札です。牛王宝印ごおうほういんは効験こうけん(御利益)があるお札として寺社から僧侶や参拝者に授与されていました。こちらの松尾神社は京都の松尾大社の分霊ぶんれいを祀っているもので、祭神は大山咋神おおやまくのかみ・市杵姫命いちきひめのみことであり、古くから酒造の神として信仰されています。

亀を二匹並べた図柄の牛王宝印札は当神社の御祈禱札の中に納められており、「牛王寶印 松尾社」と記されています。所蔵していた秋葉家は元酒屋でした。

亀は古く中国で仙人の住む蓬萊山ほうらいざんの使いとされ、長寿や財福、繁栄の象徴となる吉祥の動物とされていました。日本で亀は「亀に酒を飲ませて放つと大漁になる」「亀を捕まえたら酒を飲ませて放せ」という伝承が各地で聞かれます。



松尾神社 牛王宝印札

### 掛軸

#### 与謝蕪村の描いた南画と俳画

皆さんは与謝蕪村という人物をご存じでしょうか。彼は南画なんがと俳画はいがを確立させた人物で、南画は水墨と淡い色彩で山水画や花鳥画などを描き、俳画は俳句を添えているのが特徴です。特に蕪村の画は情景が目に浮かぶような独特の温かみと柔らかさが見られます。

富里市は蕪村の作品を6点所蔵しており、作品の多くに四季折々の花々や鶴・雀など鳥も描いていることから南画の特色が大きく表れています。

今月から展示している「破笠・牡丹・鎌・雀・蝶」は破れた笠の周囲に牡丹の大輪の花が咲き地面に鎌、空には蝶と雀の姿があり暖かい春から初夏にかけての様子さまが描かれています。

俳人でもある彼の有名な句に「牡丹散りて 打ちかさなりぬ 二三片」があります。牡丹の豪華な花が散って、その花卉が2、3枚地面に重なり合っているという意味で花の王である牡丹の散り際の美しさ、滅びの美や儚さを表現しています。



与謝蕪村 「破笠・牡丹・鎌・雀・蝶」

脇差 銘 <sup>むつのかみかねやす</sup> 陸奥守包保 (左文字)

陸奥守包保は江戸時代前期の刀工です。大和国手搔派<sup>てがいは</sup>の末流で、大坂城下に移住し、大坂新刀を代表する刀工の一人として活躍しました。

包保の刀には鏡に映したように逆文字で銘が切られています。これは左利きであったためといわれ、銘だけでなく鑪目<sup>やすりめ</sup>も逆筋違いになっています。そのため「左陸奥」と称されました。濤乱刃風<sup>とうらんば</sup>(刃文が波のようになっている様)の作柄が多く、大坂物らしく澄んだ地鉄が特徴です。

今回は他に、室町時代の相州鍛冶<sup>そうしゅうかじ</sup>、助廣<sup>すけひろ</sup>の脇差などを展示しています。



文化資源活用班よりひとこと

郷土資料展示室では今回から「秋葉家の守札」や県指定文化財の「佐倉牧の牧士資料」など富里市に関する資料を展示しています。今回紹介した資料のほかにも市の文化財を展示していますので今しか見られない貴重な資料をこの機会にぜひご覧ください。

なお、今回紹介している資料は掛軸6月末、刀剣7月末、古文書・お札は9月末までの展示予定です。



郷土資料展示室

富里市立図書館(とみらいテラス) 2F

【開館時間】火曜日～木曜日 9:30～18:00

金曜日 9:30～19:00

土・日・祝日 9:30～17:00

【休館日】月曜日・毎月末の木曜日

その他図書館の開館日・開館時間に準じます

【お問い合わせ】0476-93-7641 (富里市生涯学習課文化資源活用班)